

2021年11月11日

需要家 各位

湘南生コンクリート協同組合



コンクリートの単位水量推定試験について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊協同組合の製品をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

レディーミクストコンクリートの受入検査において、単位水量推定試験を行う現場が増えてきています。単位水量測定においては、サンプリングに関わる誤差、測定機器・プロセスに関わる誤差など様々な誤差要因が存在しています。

平成15年10月に国土交通省より通知された「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の中で単位水量の管理値 $\pm 15\text{kg/m}^3$ で改善指示、指示値 $\pm 20\text{kg/m}^3$ 以上で打設せずに持ち帰りとし示されています。この検査基準は、明らかに不良なコンクリートのみを排除する目的で設定されました。

国交省大臣官房技術調査課の報告<sup>\*1</sup>では、「単位水量の増減によるスランプ量の変化を単位水量とスランプ間の傾向より求めると、仮に配合設計時の単位水量を $175\text{kg/m}^3$ とすると、管理値 $\pm 15\text{kg/m}^3$ ではスランプ量は7cm程度、指示値 $\pm 20\text{kg/m}^3$ ではスランプ量は9.5cm程度の目で見えて分かる大きな変化をしめすことになる。」と記載されております。

このことから、スランプおよび空気量が受入検査で合格しており、単位水量推定値だけが $\pm 20\text{kg/m}^3$ を超える結果が出た場合には、生コンクリートの単位水量増減以外の要因で測定結果が示されているものと推測されます。

生コンクリート工場は、「JIS A 5308：レディーミクストコンクリート」に従って品質管理を行っており、現場で測定する単位水量はJIS A 5308の品質に規定されていません。

以上のことから、現場の受入検査で単位水量推定試験結果のみ不合格となり持ち帰りとなった場合は、お客様都合で持ち帰ることになりますので、今後は現場都合の「戻りコン」として取り扱い、商品代とキャンセル料の両方をご負担いただくことをご了承いただきたくお願いいたします。

是非ともご理解、ご協力をお願いいたします。

敬具